

## 新潟縣廳舎建築概要

帝國鐵道協會の第32回定期總會が新潟市に於て開催されたことは別項の通りであるが、同市の代表的建築である縣廳舎をまた紹介してなかつたから、此機會に簡單ながら概要を掲げる事にした。寫眞及圖面等は新潟縣土木部長荒木榮二氏の好意によるものである。

### 工 事 概 要

位 置・新潟市學校町壹番町5290番地。

敷地面積・14,937平方米26(4,518坪52)

建築面積・3,937平方米295

(1,191坪03 $\frac{1}{2}$ )

延面積・14,489平方米021

(4,382坪929)

内 譯・

地階 98,853. 平方米)

1 階 7,686.942

2 階 3,886.007

3 階 3,414.532

4 階 3,260.506

屋上階 142.182

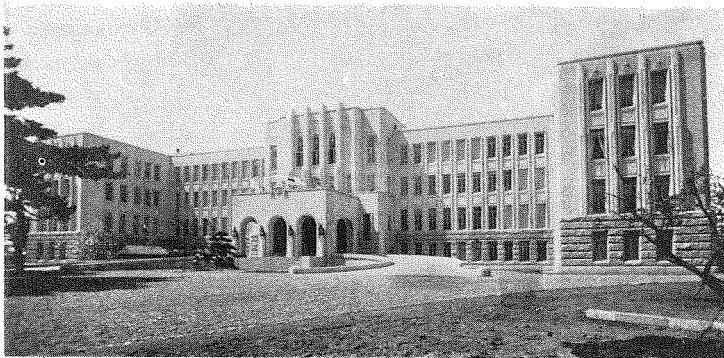
階數・一部地階及屋階付4階建。

建築様式・近世式。

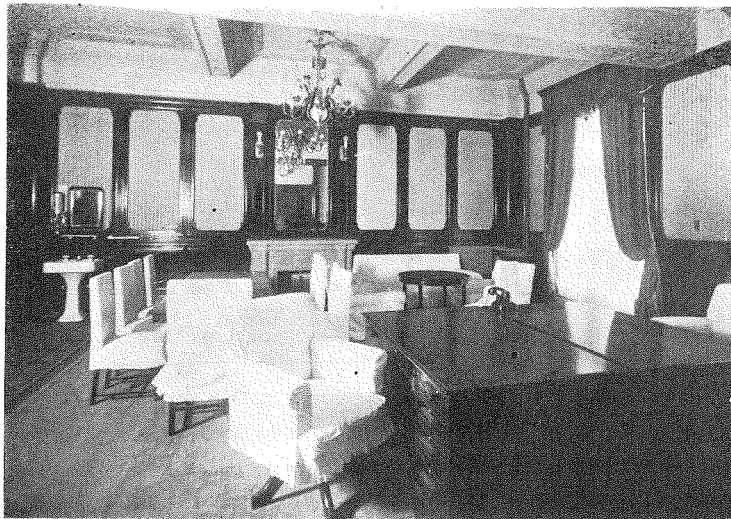
### 〔知事室〕

構造・基礎は地盤線より2米272(地階部分は3米631)掘下げ生松丸太長5米455、徑18種以上のものを5,386本打ち込み、全部耐震構造鐵筋コンクリートとした。

主體は壁、柱、床、天井共耐震構造鐵筋コンクリートである。高さは地盤線より一般軒パラハット上端まで20米424、中央パラハット上端まで20米424、背面塔屋パラハット上端まで21米635、煙突高さ27米237、一般天井高さ1階3米788、2階4米545、3及4階4米090。



〔正 面〕



外部仕上・表裏玄關、車寄全部、其他は2階窓臺上端まで岡山縣向島産の花崗石で仕上げ、其上部は人造石目入洗出仕上げである。

床仕上・各階事務室は米松床板張、表裏玄關及車寄床は花崗石水磨き、各階廣間及廊下便所、一般食堂、厨房等は人造石研出し、貴賓室、知事室、議長室、各部長室、參事會室、縣會議員控室、會議室、高等官食堂は寄木張り、正廳及縣會議場、同傍聽席等はコルクタイル張り、貴賓便所はモザイクタイル張で、會計課公衆溜及兩翼出入口の一部はタイル敷である。

腰仕上・表玄關は伊太利産大理石張り、表廣間及階段室等は内地産遠目鏡、新薄雲、淡雪の3種を使用、裏玄關は人造トラバーチン張付け、各階廊下は人造石研出して、一般事務室はモルタル塗ペンキ仕上げ、貴賓室及同南北副室は米檜材白エナメル塗金線入仕上げ、知事室、同應接室、縣會議場、同傍聽席等はチーク材のラック研出し、議長室、同應接室、三部長室、同應接室、土木課長室、同應接室、議員控室、高等官食堂等は鹽地材使用ラック又はヴァニス仕上げ、各パネルはコルク吹付け金粉置ペンキ拭取で、正廳及參事會室は米檜材ペンキ叩き、廳員食堂、來廳者食堂、厨房、各便所はタイル張である。但し貴賓便所はカララガラス張である。

壁及天井・プラスター塗で彫刻裝飾部は石膏型拔張付け、何れもペンキ拭取で、一般事務室は水性ペンキ塗である。

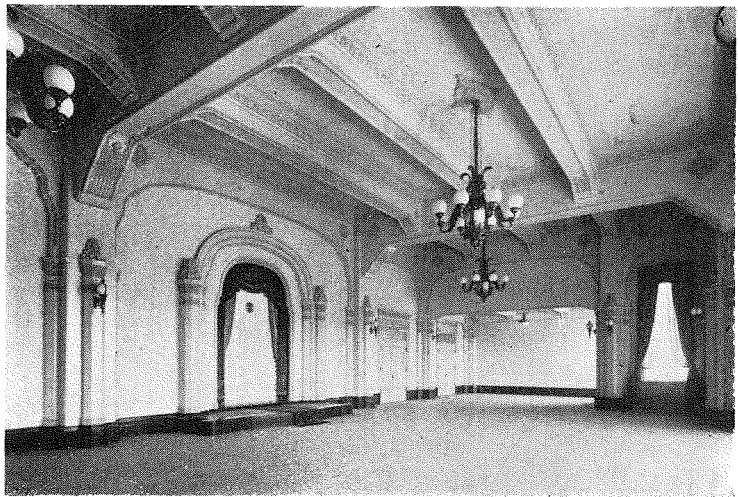
窓及出入口・外部出入口及窓はスチール・ドア及び木製ベニヤ・ドア、窓硝子障子

は鹽地材又は米檜材である。

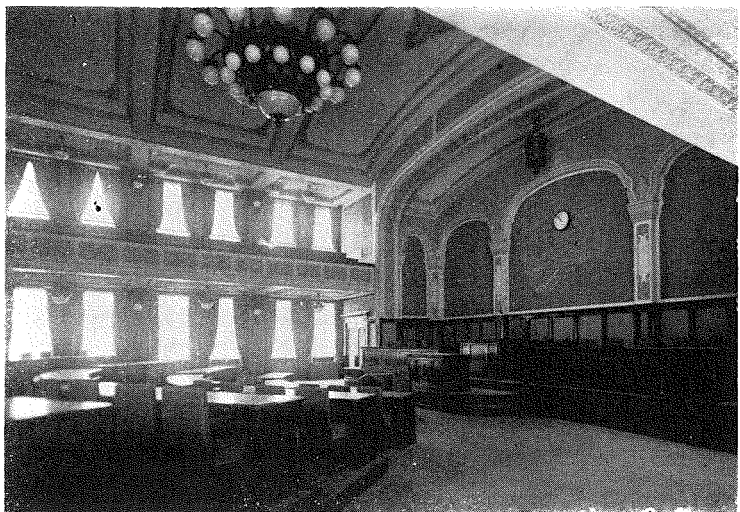
防水工事・1階床はラバロイド2號品1枚張、各階便所其他水を使用すべき部分はラバロイド1號及2號品2枚張、屋上陸屋根はラバロイド半號及1號品並にフレキストン14ホンド品3枚張で防水し、押へコンクリートの上にセメントブロックを敷く。

附帶設備・主なるものを舉げれば、給水、防火、衛生、排水、塵芥處理、排氣、暖房、電氣、照明、電話、登退廳表示、呼鈴、電氣時許、リフト、避雷針、瓦斯等の近代的諸設備が何れも合理的に配

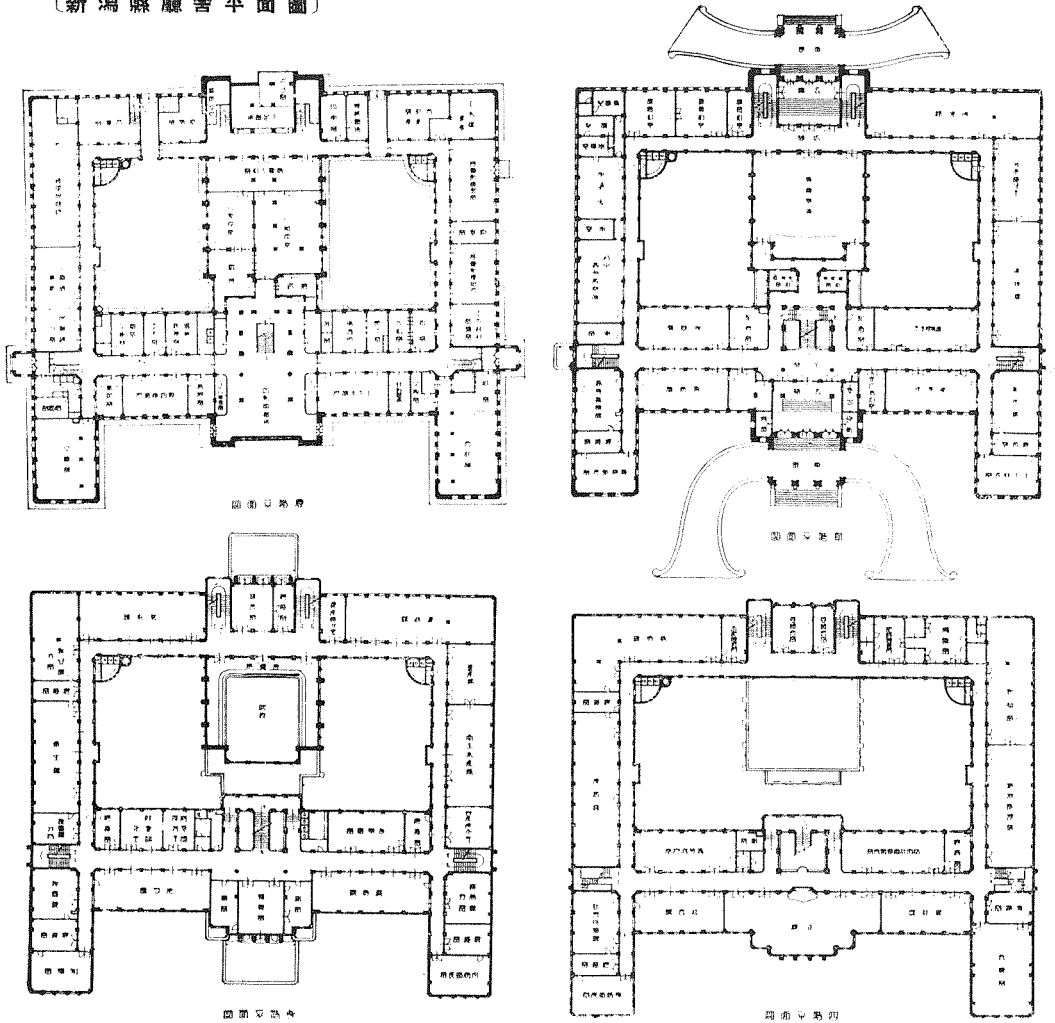
〔正廳〕



〔議場〕



〔新潟縣廳舎平面圖〕



上の左は1階、右は2階。下の左は3階、右は4階のプランである。

置されてある。

附屬舎・以上本館の外同敷地内に鉄筋コンクリート177平方メートル62及び木造111平方メートル99の自動車々庫、木造3階建延1,228平方メートル463の倉庫と、市内川端町一丁目に衛生試験室がある。

工事工期・起工昭和四年六月一日、昭和五年三月三十日に地鎮祭、昭和七年五月二日に竣功し、同九月二十一日落成式を挙げた。作業日数852日、従事延人員115,358人。

工事関係者・前新潟縣土木部長（當時は土木課長）川土國三郎氏、建築顧問内藤多仲氏、岡田信一郎氏、設計及監督木子七郎氏、現場監督技師以下10

名。

請負は大林組で、其他須賀商會、大阪電氣大阪援房、内田商事、富士電機、沖電氣、新潟瓦斯等の諸社が附帯設備を施工した。

工事費・總額1,756,216圓。内本廳舎の建築費が1,125,737圓、設備費355,000圓で、附屬舎建築費其他170,466圓を要した、この内譯は自動車々庫建築費8,200圓、倉庫建築費22,866圓、衛生試験室建築費26,687圓、門柵道路舗裝建物移轉費12,713圓と云ふことになる。残りの105,013圓は設計及監督諸費である。

—以上—